

県下の交通事故

(平成11年6月20日現在)

年別	発生件数	死者	傷者
平成10年	2,819件	42人	3,723人
平成11年	2,910件	33人	3,809人
比較	+91件	-9人	+86人



◆ 第128号 ◆
 発行所 甲府市丸の内一丁目9-11 県民会館2階
 〒400-0031
 財団法人 山梨県交通安全協会
 山梨県交通安全活動推進センター
 TEL 甲府 (055) 232-4682
 (055) 237-7827

夏の交通事故防止県民運動

7月21日(水)から
8月20日(金)まで

運動の重点

- 一 高齢者と子供の交通事故防止
- 二 若者の無謀運転及び暴走族の追放
- 三 シートベルトの着用の徹底とチャイルドシートの着用促進
- 四 交差点・カーブにおける事故防止



中央自動車道における無残な事故の状況

この運動は、夏の行楽シーズンと生徒等の夏休みが重なり、高齢者や若者等による交通事故の多発が心配されるので、山梨県独自の運動として実施されるもので、県民一人一人が交通ルールやマナーを守ることを習慣づけて交通事故防止を図ろうとするものです。

若者の無謀運転及び暴走族の追放

県内の交通事故は年々厳しさを増しており、六月二十日現在の交通事故による死者数は三十三人(前年比九人減)となっております。待っていた楽しい夏休みを悲しみで泣くことのないように、県民全員が交通安全の主役となつて取り組みましょう。

高齢者と子供の交通事故防止

昨年中の高齢者と子供を合わせた死亡事故は、約三四%と多く、特に夏休み中この種事故を防止すれば死者二ケタ台確保は可能だと思います。

堀内氏が新会長に就任

山梨県交通安全協会



五月二十八日、古名屋ホテルで、(財)山梨県交通安全協会の定例評議員会・同理事会が開かれ平成十年度の事業・決算報告等が審議され、議決しました。

堀内会長は、六年間会長に選任されました。志村前会長には多大のご尽力を頂きありがとうございました。堀内会長には県安協が一層発展するよう活躍が期待されています。



まもなく夏休みを迎え、開放感や行楽客の増加等により、例年交通事故が多発する季節となります。

県内の交通事故は、発生件数、負傷者数とも増加傾向を示し、特に発生件数は統計史上最悪状態を毎年更新し、死者数は全国的には減少傾向を示すなか、県内では毎年百十人前後と高原状態で推移しており、誠に憂慮すべき状況にあります。

そこで県警察では、全

交通ルールとマナーを守る

県警交通安全課長 野中隆幸



十一日から交差点やカーブにおける事故防止のため、街頭監視活動・指導取締りの強化

道路管理者と連携しての安全施設の整備や改

特に交差点において、過日、右左折時の合図履行状況をサンプル調査したところ、信号機設置交差点で九・八%、信号機未設置交差点では一六・

不良

○市町村や交通関係機関・団体と協力した広報啓発活動

等を重点的に実施しております。



平成十年中の県内での交通事故の原因別では、前方不注意が全体の約四割を占めており、これは運転に集中しないとか、何かに気がとられたりする漫然運転のケースが多いためです。

▼運転者は、いつも道路の状況や交通の状況等に十分注意して車を運転すべきという安全運転義務を背負わされていますので、特に心理的要因を適切に分析して運転することが必要です。

▼脇見・漫然運転の事故原因分析では、第一点「きれいな女性に見とれた」という脇見対象の特定、第二点「イライラして標識に意識がいった」という運転経過の分析、第三点「おかしな運転に腹がたつた」というとらわれ原因の分析、第四点「まさか急停車するとは思わなかった」というまさか原因の分析が必要といわれています。

▼道路上ではさまざまな危険場面に出合いますので、交通事故を起こさないためには、一時停止しない車両や子供の飛び出しがあるかも、さらにはという気持ち、さらには運転場面にひそんでいる危険をいち早く見つけだし、適切な運転操作によりその危険を避けるという危険予知運転の必要性が強調されています。

▼危険予知運転を励行しようという心構えで、いつも運転していれば脇見や漫然運転は減少するはずですが、現在社会に不可欠で利便性がある車でも、いつ凶器に変わるかもしれない危険性をもっていますので車を運転するときは、神経集中主義で運転に没頭することが最も大切だと思います。

堀内新会長、交通安全を誓う

平成10年度の事業・決算を承認

～県安協定例理事・評議員会～

県交通安全協会は、五月二十八日甲府市内の古名屋ホテルで定例理事会を開き、平成10年度の事業報告及び収支決算報告を承認しました。

その後、当協会の新会長選任の件が諮られ、堀内光雄氏が評議員会で理事に選任され、続いて開かれた理事会で理事の互選により、志村哲良氏にかり堀内光雄氏が県安協の新会長に選任され就任しました。

当日の会議では、志村哲良会長が欠席されたため、定例理事会は秋山登副会長（甲府安協会長）が代理をつとめ、また定例評議員会では北條繁友評議員が議長となつて会議は進められました。

まず、理事会では秋山副会長が「本日は平成10年度の事業及び決算報告の審議を願うほか、志村会長に代わる新会長選任の議案も提案しますので、慎重審議をお願いしたい」とのあいさつを行いました。

最後に、県警窪田正英交通部長から、県内の交通情勢について説明を受けて閉会しました。



大会での表彰

本年度の事業報告（別掲）と同収支決算報告が審議されて承認されました。

このあと会長改選の議案の審議に入った時点で、新会長候補の堀内光雄氏を理事に選任するための評議員会議が開かれ、同会議で堀内氏が就任あいさつをする堀内光雄新会長

最後に、県警窪田正英交通部長から、県内の交通情勢について説明を受けて閉会しました。

丸茂氏ら十二人と南部・長坂安協 関東管区表彰に輝く

関東管区交通安全協会連合会（三鬼彰会長）の平成十一年度交通安全功労者等表彰式が、五月二十日グランドアーク半蔵門で開かれ、交通功労者、優良安協、優良職員の名簿が発表された。

表彰が行われたのは、丸茂昭三氏（甲府安協副会長）以下十二人と、南部（丸茂昭三氏）と長坂（丸茂昭三氏）の二氏（甲府安協副会長）以下十二人と、夫人にも内助の功により管区連合会長から感謝状が贈られました。

また優良交通安全協会表彰は、南部交通安全協会（渡辺喜信会長）と長坂交通安全協会（伊藤重忠会長）が受賞しました。



交通安全功労者等表彰式

本県関係の受賞者は次のとおりです。

（敬称略）

○関東管区警察局長 丸茂昭三（甲府）、中田富康（南甲府）、飯野幸（小笠原）、小澤春義（菲崎）、中澤右近（長坂）、望月勝政（鵜沢）、河西芳勝（石和）、関達也（日下部）、月見健三（都留）、渡辺正行（富上吉田）、上條弘行（上野原）、鷹野和子（母の会）、吉田英之（二推）

○優良交通安全協会 南部交通安全協会（渡辺喜信会長）、長坂交通安全協会（伊藤重忠）

○優良交通安全協会職員 芦澤和男（山梨県安全運転学校）、久保田君雄（交通安全活動推進センター）、小池綾子（山梨県安全運転学校）

死者大幅減少

春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動は、五月十一日から二十日までの十日間、スローガンを「ゆとりとマナー」今日もさわやか甲斐の路。運動の重点を①子供と高齢者の交通事故防止②シートベルトの着用徹底③飲酒運転の削減、重点目標に特に飲酒運転の削減は山梨県独自の

重点目標で、県民総ぐるみで交通安全意識の向上を目指しました。

○行事等への参加者 警察官 二、九〇〇人 交通関係機関・団体 一八、八七〇人

○期間中の交通事故発生 一一五件

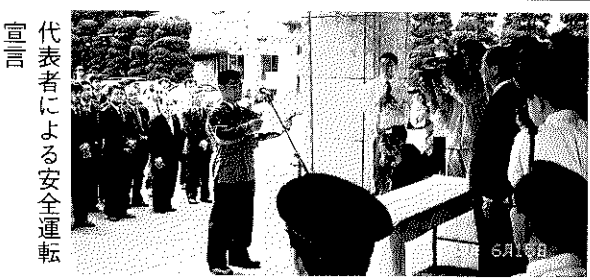
死者 四人（七人減） 傷者 一五三人

平成十年度事業報告

- 交通安全運動の実施
 - 春・秋の全国交通安全運動で、黄色い羽根、ポスター、ビラ等配布
 - テレビ・ラジオ放送
 - 夏・年末年始交通安全防止原民運動に賛助
 - 10・2・15 アピオ甲府で、交通安全活動推進市民大会を、県下から一、二〇〇人集めて開催
- 交通安全功労者等表彰
 - 関東管区安協連名表彰
 - 5・29 東京虎の門パストラで功労者十人、優良安協団体などが受賞
 - 優良指導員等表彰
 - 11・3 運転免許センターで、指導員六人進指導員一人を表彰
- 県安協会長等連名表彰
 - 10・10・28 県立文学館講堂
 - 管区表彰伝達、二団体十人
 - 緑十字銅像伝達百十人
 - 県安協等表彰十一団体二百五十七人を表彰
- 第39回交通安全国民運動中央

無事故・無違反を競う

～チャレンジ200～
1,858チームが参加



代表者による安全運転宣言

機関・団体協賛の「平成十一年度セーフティードライブチャレンジ200」が六月十五日から始まり、六月十五日までの二百日間、十人チームで無事故・無違反を競うものです。

第七回目となる今年には、県民の関心も高く、参加チームは千八百五十八チーム（一万八千五百八十八人）と昨年より二七四チーム増加するなど、県民に定着した大規模な大会となってきました。

開始式は、六月十五日県庁正面玄関前に参加チームの代表者等二百人が集まって行われ、県交通安全協会の会長の大野知事が激励のあいさつをしました。

続いて参加者であることとを示す参加者証票が大野知事山梨県知事より直接手渡され、東京電力駒橋発電所チームの長田賢さんが参加チームを代表して、「無事故・無違反を達成します」と力強く宣誓して終了しました。

地区だより

春の全国交通安全運動

今年の春の全国交通安全運動は「子供と高齢者の交通事故防止」と「シートベルト着用」の徹底等を運動の重点として、五月十一日から二十日までの十日間行われました。

期間中の地区安協等の活躍ぶりを紹介します。



街頭で交通安全を訴える指導所を開設 (南甲府)



高齢運転者の参加、体験型講習 (甲府)



交通安全宣言をする幼児たち (県交対協)



山梨・長野合同指導所開所式 (長坂)



創意をこらし荳崎駅前交通安全啓発活動 (荳崎)



無事故無違反達成者等に対する表彰式 (小笠原)



石和南小で反射材体験教室を開催 (石和)



児童に対する自転車教室の開催 (市川)



女性ドライバーが交通安全宣言 (南部)



三兄弟で大声安全宣言 (歙沢)



河口湖畔で観光客に街頭指導 (富士吉田)



子供達も力強く運動に参加 (都留)



交通安全リーダーの研修状況 (塩山)



山梨市駅前にて合同出発式 (日下部)



高齢者交通事故防止町民大会の開催 (上野原)



園児達の交通安全宣言 (大月)

高齢者からの提言

南甲府安協

南甲府交通安全協会(山下譲二会長)では、南甲府警察署の協力を得て、今年の春の全国交通安全運動における主要行事として、五月十一日(火)午後一時から、昭和町内の昭和町総合会館において、県内で初めての交通安全大会を開催しました。

この提言は、管内一市六町村内に居住の七十三歳から八十三歳までの高齢者の代表七人が、普段から交通安全について考えている意見や交通事故の体験等を発表しました。当日は交通安全運動の初日であったため、秋山

征司県警本部長も、その提言に耳を傾けたのち、出演者達に激励や慰労の挨拶をしました。

審査の結果、最優秀賞に輝いたのは、田富町代表の塩島一郎さん(八十一歳)で、演題は「私の交通安全防止について」という意見発表でした。

塩島さんは「男が外に出れば七人の敵がいると云われるが、現在は交通事故という敵を合わせて八人いる」として、その一人、交通事故を退治する方法について七つの提言をしました。

発表した七人の提言は全て甲乙つけがたい立派な内容でしたが、この他優秀賞に、中道町代表の長田みや子さん(七十三歳)の演題「高齢者として思うこと」並びに、昭和町代表の保坂平造さん(七十七歳)の演題「高齢化社会を迎えて交通安全の探求」が選ばれました。

県下各安協で定期総会

事業計画など決定

県下の各交通安全協会では、五月下旬から七月上旬にかけて、それぞれ定期総会を開催(除く上野原)しました。

厳しい交通情勢が続く中で、真剣な審議が行われ、本年度の事業等が決定されました。

地域の交通安全のためにボランティア活動を展開している十五地区交通安全協会に対し、県民の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

県下各地区安協の支部活動

各種イベントに協力

市川安協・大同支部

市川交通安全協会(八木吉貞会長)大同支部(二瀬貞仁支部長)では、市川署大町駐在所の協力を得て、四月三十日夜、大同地区公民館会議室において、同支部定期総会を開き、事業報告(計画)や決算(予算)報告等が審議のうえ決定されました。

特異な事業としては、少年育成会で行う「魚つかみ取り大会」への協賛や「神明花火大会」など



定期総会資料として、男女による歩行速度や一秒間の自動車の速度及び血液型と運転パターン関係等が配付され好評でした。

ストップマーク設置

甲府安協・敷島支部

甲府交通安全協会(秋山登会長)敷島支部(近藤昭支部長)では、敷島町の協力を得て、新設道路である愛宕山・大下条



線が開通したので、このほど同道路での歩行者の安全を守るため、横断歩道や交差点等の手前の路面に「ストップマーク」を十六箇所設置しました。この道路は、敷島南小学校の通学道路でもあるところから、安協支部役員や町交対協職員等が図柄や設置場所等を検討して、新型のストップマークを路面に表示したもので、歩行者の安全が保てると町民から喜ばれています。

★各車種の免許(大型・普通・大特・けん引の各第一種、第二種免許及び普通二輪免許)の取得ができます。

★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。

財団法人
山梨県交通安全協会経営

公認 **山梨県自動車学校**

中巨摩郡八田村野牛島1828
(運転免許センター内)
TEL (055) 285-0752